

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	
山口市	徳地島地(上市、中市、下市、中村、石曾根、矢井、下津屋) 徳地山畑(大久保、中畑、下畑、大野)	
当初作成年月	直近の更新年月	今回の更新年月
平成26年12月	平成31年1月	令和3年3月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	73.3 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	48.0 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	8.3 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5.7 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	32.2 ha

2 対象地区の課題

地域の高齢化、後継者不足に対応するため、島地下地区(下畑、中畑、大野、大久保、石曾根)では、農事組合法人に集積しほ場整備を実施中であるが、島地上地区(上市、中市、下市、中村、矢井、下津屋)について、ほ場整備の実施に向け調整中である。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・島地下地区については、中間管理機構を利用して農事組合法人に農地を集約する。
- ・島地上地区については、中心経営体3名を軸に農地を集約する。

4 3の方針を実現するために必要な取組みに関する方針

- ・新たな受け手への付け替えができるよう、農地中間管理機構を通じての貸し付けを進めていく。
- ・島地上地区についても、3名の中心経営体を軸に農地の集積をすすめ、ほ場整備の実施に取り組む。
- ・島地上地区のほ場整備実施に向けて、やまのいもの他にも土地利用率の上がる水稻以外の作物の導入を検討する。

5 中心経営体

6 経営体

- ①現状の経営面積合計 19.7ha
- ②今後(5年後)の農地の引受けの意向 最大51.9ha
(地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計②-① 32.2ha)